

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)

【公開番号】特開 2007-49685 (P2007-49685A)

【公開日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2007-007

【出願番号】特願 2006-185860 (P2006-185860)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

H 0 4 L 12/28 3 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 3 日 (2009.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧縮データを遠隔制御装置へ送信し、コマンドを遠隔制御装置から受信する無線インターフェイスと、

前記コマンドを受信し、前記コマンドに基づいて対象装置の動作を調整する制御モジュールと、

当該対象装置の動作を局所的に調整するユーザ入力インターフェイスと、
を備える対象装置。

【請求項 2】

前記無線インターフェイスが、IEEE 802.11 規格と、IEEE 802.11 規格の修正版である 802.11a、802.11b、802.11g、802.11h、802.11n、802.16 及び 802.20 と、Bluetooth とからなる群より選択されたプロトコルに準拠する、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 3】

前記無線インターフェイスがストリーミングビデオデータを前記遠隔制御装置へ送信する、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 4】

前記無線インターフェイスがストリーミングオーディオデータを前記遠隔制御装置へ送信する、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 5】

前記無線インターフェイスがボイスオーバーインターネットプロトコル (VOIP) データを前記遠隔制御装置へ送信し、音声データを前記遠隔制御装置から受信する、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 6】

ソース信号内のチャンネルを選局する第 1 のチューナー及び第 2 のチューナーと、
ローカル出力装置と、

を更に備え、

当該対象装置は、前記第 1 のチューナーから前記ローカル出力装置へ信号を出力し、前

記第 2 のチューナーから前記遠隔制御装置へ信号を選択的に出力する、
請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 7】

第 1 の信号出力及び第 2 の信号出力と、
ローカル出力装置と、
を更に備え、

当該対象装置は、前記第 1 の信号出力と前記第 2 の信号出力のうちの一方を前記ローカル出力装置へ出力し、前記第 1 の信号出力と前記第 2 の信号出力のうちの他方を前記遠隔制御装置へ選択的に出力する、
請求項 6 に記載の対象装置。

【請求項 8】

当該対象装置の前記信号出力のうちの少なくとも一方が、前記対象装置の状態情報、チャンネルガイド、及び、クローズキャプションからなる群より選択された信号出力を含む、請求項 7 に記載の対象装置。

【請求項 9】

固有のネットワークアドレスを有する、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 10】

前記制御モジュールが前記遠隔制御装置へ送信されるべきデータに関してデータ削減とデータ圧縮のうちの少なくとも一方を実行する、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 11】

前記遠隔制御装置でデータを局所的にキャッシュする、請求項 1 に記載の対象装置。

【請求項 12】

当該対象装置と前記遠隔制御装置のうちの少なくとも一方の性能に係るデータを前記遠隔制御装置と交換する自動ネゴシエーションモジュールを更に備える、請求項 11 に記載の対象装置。

【請求項 13】

前記データが、前記遠隔制御装置のメモリサイズ、前記遠隔制御装置によってサポートされる機能、前記対象装置によってサポートされる遠隔機能、前記遠隔制御装置のディスプレイサイズ、前記遠隔制御装置のディスプレイ解像度、前記対象装置の出力解像度、前記遠隔制御装置のキャッシュサイズ、及び、前記遠隔制御装置の処理能力よりなる群から選択された少なくとも一つのタイプを含む、請求項 12 に記載の対象装置。